

「とよなか散策」スポット紹介 その⑩御獅子塚古墳

御獅子塚古墳(国指定史跡)は5世紀前半、大塚古墳に続いてつくられた桜塚古墳群最盛期の一つで、全長55m、後円部直径35m・高さ4m、前方部幅40m・高さ3.5m、周濠幅7mの前方後円墳です。墳丘は2段目の斜面のみ葺石を敷き詰め、平坦面(テラス)には円筒埴輪6本と朝顔形埴輪1本の計7本を1単位とした埴輪列が一周巡っていました。現在墳丘は整備がなされ、築造当時の姿に復元されています。

後円部の調査では2基の粘土櫛(内部は木棺)を確認しています。古い方の木棺(第2主体部)は、革綴じ技法のよろい(短甲)、かぶと(冑)のほか、槍、鉢、鎧など主に鉄製の武器・武具類が収められていました。一方、新しい方の木棺(第1主体部)では、棺内の中央付近出土の頭片と歯から、遺骸の存在が確認でき、鑑定の結果、葬られた人物の性別は不明ですが、壯年から熟年であったことがわかっています。棺内には銅製の鏡鉢留め技法の短甲、甲冑、刀剣、鎧など主に鉄製の、武器・武

具類のほか、農工具や玉類が収められ、棺外には馬具、革製の盾が置かれていました。

短甲や冑に見られる鉢留めの技法は、革綴じ技法に続いて導入された技法であり、当時最先端の金工技術です。このような武具類の入手には当時の古市・百舌鳥古墳群(大阪府堺市・羽曳野市・藤井寺市など)の大王勢力との関わりがうかがえます。また馬具は、朝鮮半島南部産のものとみられ、棺財の結合に朝鮮からの技法である鎧(かすがい)が使用されています。こうしたことから朝鮮半島の国々との深いつながりもうかがえます。



明石城 研修・見学会

長く続いた暑さもようやく和らぎ始めた10月1日、「原田しろあと館」の維持・管理ボランティア登録者及び「豊中まち案内人」でガイド協力者による総勢17名の参加のもと、「明石城研修・見学会」を豊中市教育委員会及び当会の共催で行いました。

明石城では地元観光ガイドの「ぶらり子午線観光ガイド」2名に普段は見学できない「櫓」を見学させてもらい、丁寧な説明を受けました。

お昼は魚の棚商店街近くのお店で、たこ飯ご膳を頂きました。新鮮な刺身もあり、さすが明石といったところでした。その後、魚の棚商店街で買い物を楽しみましたが、皆さんお腹がいっぱいです、名物「明石焼き」を買う人はいませんでした。

最後にアカシゾウの展示で有名な明石市立博物館を見学。同行した豊中市職員(学芸員)が展示してある石器時代～古墳時代の遺物について説明してくれました。改めてありがとうございました。



木焼(もくしょう)アート作品展



電気ペンで、絵を木に焼いて描く木焼アート。焼き方の具合ひとつで木の焦げ方が違い、味のある作品が出来上がります。昨年好評だった田中徹さんの数多くの作品の中から今回は、主に仏像を中心とした迫力満点の作品の展示となりました。



原田しろあと館の一般公開は、土曜・日曜の12:00～16:00(入館は15:30まで)となっています

二後記

・今年もいろいろなことがありました。冬には北海道や東北での大雪。1/17は阪神淡路大震災30から年。春には大阪・関西万博の開催。夏は戦後80年。厳しい暑さ。秋にはイスラエルとハマスの停戦合意。そして人の住むところでのクマの出没。自然界では地球温暖化がますます進んでいるようです。日本でも女性初の総理大臣の登場。来年はどんな年になるのでしょうか。時代の変化の中で、自然との付き合い方や人との付き合い方について自分なりの意見を持っていきたいものです。(Y)

当番ボランティアを募集中

原田しろあと館の開館日である土・日に、月1～2回ほど、施設の清掃や庭の掃除などの当番ボランティアをしてみませんか。ガーデニングの好きな方の参加も大歓迎です。お気軽にお問い合わせください。



市民交流の場 原田しろあと館 たより

発行:特定非営利活動法人 とよなか・歴史と文化の会
〒561-0801 大阪府豊中市曾根西町4-4-15
TEL & FAX:06-6841-3725(土・日 12時～16時)
Eメール:toyonaka-hc@song.ocn.ne.jp
URL:<https://harada-shiroato.org>

Vol.80



新年を迎えるためのしめ飾り

【12月 1月の催し物】

12月	
6日(土)	自由見学
7日(日)	ミニコンサート
13日(土)	ミニコンサート
14日(日)	おもちゃつくり
20日(土)	パルーンアート・むかし遊び
21日(日)	大掃除
27日(土)	休館
28日(日)	休館

1月	
3日(土)	休館
4日(日)	休館
10日(土)	自由見学
11日(日)	新春餅つき大会 おもちゃつくり
17日(土)	自由見学
18日(日)	ミニコンサート
24日(土)	ジャズレコード鑑賞
25日(日)	しろあと寄席
31日(土)	オールディーズCD鑑賞

12月7日(日)～チェロとチェンバロによる珠玉の名品・心の旅～



明楽みゆきさん



後藤敏子さん

毎回素敵なゲストを選んでチェンバロと一緒に演奏いただいている明楽みゆきさん。今回はチェリストの後藤敏子さんとの共演です。

演奏予定曲: チェロ&チェンバロ(アヴェマリア、懐かしき木陰よ、涙のアリア 他) チェロソロ(ノーウーマン ノークライ 他) チェンバロソロ(三美神 他)
出演: 後藤敏子さん(チェロ)、明楽みゆきさん(チェンバロ)、安藤久美子さん(朗読)

12月13日(土) 光あふれる聖なる午後

～パラグアイハープとギターのクリスマスコンサート～

しろあと館のクリスマスと言えば、パラグアイハープとギターのコンサートがここ数年恒例となっています。演奏予定曲: クリスマスソング 母を訪ねて三千里 他 出演: 増永雅子、福永幸子、佐野麻子(パラグアイハープ) 山田恵範(ギター)



前回の演奏風景

1月12日(日) 新春恒例 餅つき大会



前回の餅つき大会の様子

前回久々に復活した餅つき大会。今回も先着200名の方にはぜんざいを配布します。餅つき体験しながら、味わってください。

1月18日(日) 歌って笑って楽しい午後 ～ソプラノ達のハッピー・ミュージックvol.3～



前回の演奏風景

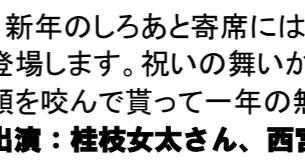
回を追うごとに参加者が増えて来ている、今人気のコンサートです。実力を備えたソプラノ達が、手を変え品を変えての楽しい構成。人気の秘

西宮神社の獅子舞保存会の皆さん 桂枝女太さん
新年のしろあと寄席には、毎年お目出度い獅子舞いが登場します。祝いの舞いから始まり、最後は獅子舞いに頭を咬んで貰って一年の無事を願います。

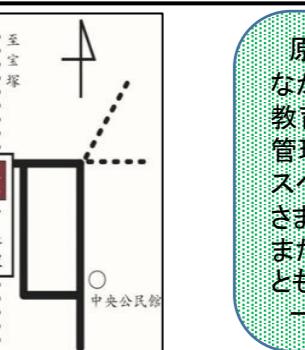
出演: 桂枝女太さん、西宮神社の獅子舞保存会の皆さん



桂枝女太さん



桂枝女太さん



原田しろあと館は、NPO法人とよなか・歴史と文化の会が、豊中市教育委員会からの委託を受けて管理・運営をしている市民交流のスペースです。多世代を対象に、さまざまな催しが行われています。また、四季折々の風情を楽しむこともできます。

一度、遊びに来てください。